

教科目名 地域計画学 (Regional Planning)

学科名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 亀野辰三

<b>授業の概要</b> 地域計画は、近年の市町村合併に見られるように、広域化・情報化・環境保全という時代の要請を背景に、その重要性はとみに増大している。しかしながら、地域計画の概念は必ずしも明確ではなく、都市計画の手法なり考え方が応用されている。そこで、本講義では、地域計画独自の概念・手法の重要性・必要性を常に念頭におきつつ、各種の“まちづくり”の基礎知識を学ぶとともに、わが国の先進地の事例を通して成功体験を共有したい。 地域計画はきわめて幅の広い分野であるだけに、本講義の時間数と項目だけでは地域計画の全貌を把握することは困難である。そこで、地域計画に必要な知識は、学生各自が新聞や他のメディア、文献等で補うことにしたい。とりわけ、『新聞』は地域計画の生きた教材である。		
到達目標		大分高専目標 (E1), JABEE 目標 (d2a)
(1) 新聞記事を用いたプレゼンテーションができるようになる。 (2) 地域計画の全体像が理解できるようになる。 (3) レポート作成を通じて表現能力を高める。		
回	授 業 項 目	内 容
1	1. 総合開発計画とまちづくり 1.1 地域計画と都市計画, まちづくり, 村おこし	地域計画の概要並びに時代と社会の変化について述べる。
2,3	1.2 全国総合開発計画	戦後から今日に至る国土計画の変遷をたどり、「21世紀の国土のグランドデザイン」の意義について学ぶ。
4	2. まちづくりと都市計画 2.1 住民参加とまちづくり, パブリックインボルブメント	地域計画において求められている住民参加の手法と、現在一般的に用いられている「パブリックインボルブメント」について、
5	2.3 PFI	実例を通して学ぶ。また、近年、急増している特定非営利団体 (NPO) について、NGO とともに学ぶ。広域行政の柱である広域連合と急速に進行している市町村合併について理解する。
6	2.4 NPO / NGO	
7	2.5 地方自治体の再構築	
8	3. 総合交通体系の策定 3.1 自動車交通の効率化	自動車交通の効率的使用と環境保全の両面から要請されている交通需要管理 (TDM), LRT, デマンドバス等について理解する。
9	3.2 都市交通問題への対応	
10	4. 先進地の事例 4.1 静岡県掛川市	地域づくりやまちおこしに成功している自治体を取り上げ、まちづくりの歴史、住民と行政の関係、成果と問題点等について、検討する。
11	4.2 神奈川県真鶴町	
12	4.3 大分県湯布院町	
13	5. プレゼンテーション	興味のあるテーマを一つ選定し、プレゼンテーションを行い、受講生で討論する。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する
履修上の注意	(1) 専用の大学ノート (A4ないしB5版) を用意すること (ル-ズリーフは認めない)。 (2) 学生は日頃から新聞等に目を通し、まちづくりに関する最低限の常識は自ら身につけてほしい。 (3) レポート課題とプレゼンテーションは、画像を扱うので、デジカメ等を準備すること。	
教科書	日本まちづくり協会編, 「地域の計画・まちづくり」, 技術書院。	
参考図書	神野直彦著, 「地域再生の経済学」, 中公新書。	
関連科目	都市計画, 道路工学, 交通工学, 環境計画, 社会システム, 景観デザイン	
評価方法	定期試験の評価 (70%) に、レポート課題 (20%), プレゼンテーション (10%) により評価する。また、授業態度により、評価点からその 20% を上限として減点する。	